

兵庫県内のがん診療連携拠点病院等の指定状況等 (R6. 4. 1)

1 がん診療連携拠点病院等

二次医療圏	がんの医療圏	兵庫県内のがん診療連携拠点病院等 (※1)		
		国指定拠点病院等 (18)	県指定拠点病院 (8)	準じる病院 (※2) (20)
神戸	神戸	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸大学医学部附属病院 ・神戸市立医療センター中央市民病院 ・神戸市立西神戸医療センター ・神鋼記念病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸医療センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸中央病院 ・川崎病院 ・神戸市立医療センター西市民病院 ・神戸海星病院 ・神戸労災病院 ・済生会兵庫県病院 ・新須磨病院 ・神戸赤十字病院 ・甲南医療センター
阪神	阪神南	<ul style="list-style-type: none"> ・関西労災病院 ・兵庫医科大学病院 ・県立尼崎総合医療センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・県立西宮病院 ・西宮市立中央病院 ・明和病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・市立芦屋病院
	阪神北	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿中央病院 ・市立伊丹病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・宝塚市立病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・三田市民病院 ・川西市立総合医療センター ・兵庫中央病院
東播磨	東播磨	<ul style="list-style-type: none"> ・県立がんセンター【都道府県拠点】 ・加古川中央市民病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・県立加古川医療センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・明石医療センター ・明石市立市民病院 ・高砂市民病院
北播磨	北播磨	<ul style="list-style-type: none"> ・北播磨総合医療センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・市立西脇病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・市立加西病院
播磨姫路	中播磨	<ul style="list-style-type: none"> ・姫路赤十字病院 ・姫路医療センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・県立はりま姫路総合医療センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・姫路中央病院 ・姫路聖マリア病院
	西播磨	<ul style="list-style-type: none"> ・赤穂市民病院【地域がん診療病院】(※3) 		
但馬	但馬	<ul style="list-style-type: none"> ・公立豊岡病院 		<ul style="list-style-type: none"> ・公立八鹿病院
丹波	丹波	<ul style="list-style-type: none"> ・県立丹波医療センター【地域がん診療病院】(※3) 		
淡路	淡路	<ul style="list-style-type: none"> ・県立淡路医療センター 		

(※1) 診療報酬上認められた病院 (計画策定病院) 計 46 病院

(※2) 兵庫県保健医療計画に記載の「専門的ながん診療の機能を有する医療機関」のうち兵庫県がん診療連携協議会の取組に同意を頂いた医療機関 20 病院

なお、兵庫県保健医療計画における「専門的ながん診療の機能を有する医療機関」については、医療機関からの申し出に基づき随時更新を行っている。

(※3) がん診療連携拠点病院の無いがん医療圏にがん診療連携拠点病院との連携を前提に指定された類型

- ・赤穂市民病院 (連携先: 加古川中央市民病院)
- ・県立丹波医療センター (連携先: 県立がんセンター)

2 がんの先進的医療に特化した治療を提供している医療機関（兵庫県保健医療計画に記載）

県立粒子線医療センター
県立粒子線医療センター附属神戸陽子線センター
神戸低侵襲がん医療センター

3 がんゲノム医療拠点病院（国指定）

県立がんセンター
神戸大学医学部附属病院

4 がんゲノム医療連携病院(がんゲノム医療中核拠点病院またはがんゲノム医療拠点病院選定)

神戸市立医療センター中央市民病院（京都大学医学部附属病院選定）
神鋼記念病院（京都大学医学部附属病院選定）
関西労災病院（大阪大学医学部附属病院選定）
姫路赤十字病院（岡山大学病院選定）
県立こども病院（神戸大学医学部附属病院選定）
兵庫医科大学病院（近畿大学病院選定）
県立尼崎総合医療センター（京都大学医学部附属病院選定）

5 小児がん拠点病院（国指定）

県立こども病院

6 近畿ブロック小児がん連携病院（近畿ブロック小児がん医療提供体制協議会指定）

（1）地域の小児がん診療を行う連携病院

神戸大学医学部附属病院
県立尼崎総合医療センター

（2）特定のがん種等についての診療を行う連携病院

県立がんセンター
県立粒子線医療センター附属神戸陽子線センター

（3）小児がん患者等の長期の診療体制の強化のための連携病院

兵庫医科大学病院
神戸市立西神戸医療センター
明石市立市民病院
加古川中央市民病院
北播磨総合医療センター
姫路赤十字病院
県立はりま姫路総合医療センター

第6次兵庫県がん対策推進計画における ロジックモデルの活用等について

令和6年6月6日(木)
兵庫県保健医療部疾病対策課

ロジックモデルについて

国の動向

- 令和5年3月28日付け 厚生労働省健康局長通知
「がん対策推進基本計画の変更について」(抄)

2. 目標の達成状況の把握について

変更後の基本計画について、国は、基本計画の進捗状況を適切に把握し、管理するため3年を目途に中間評価を行うこととしている。評価にあたっては、全体目標、分野別目標及び個別目標と各施策の関連性を明確にし、PDCAサイクルの実効性を確保するため、ロジックモデルを活用した科学的・総合的な評価を行い、必要に応じてその結果を施策に反映することとしている。

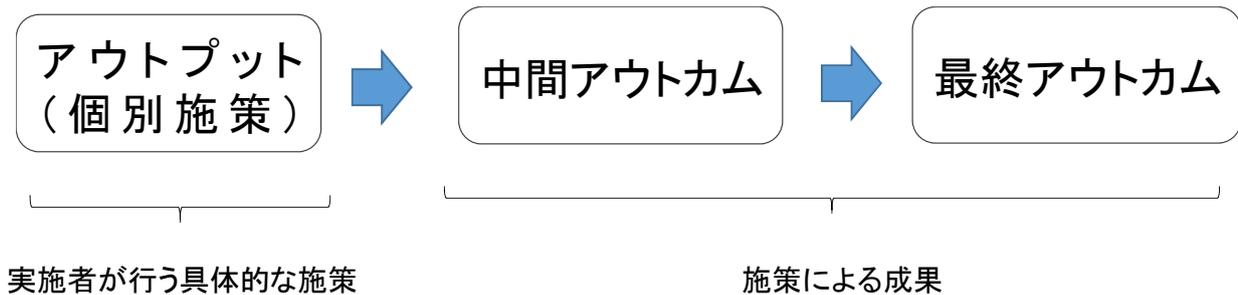
都道府県におかれても、都道府県計画に基づくがん対策の進捗管理に当たり、PDCAサイクルの実効性確保のため、ロジックモデル等のツールの活用を検討されたい。

ロジックモデルとは

計画の目標である長期成果(最終アウトカム)を設定した上で、それを達成するために必要となる中間成果(中間アウトカム)を設定し、当該中間成果を達成するために必要な個別施策を設置する等、計画が目標を達成するに至るまでの論理的な関係を体系的に図式化したもの。

(都道府県循環器病対策推進計画の策定に係る指針「令和2年10月29日厚生労働省健康局がん・疾病対策課長通知」)

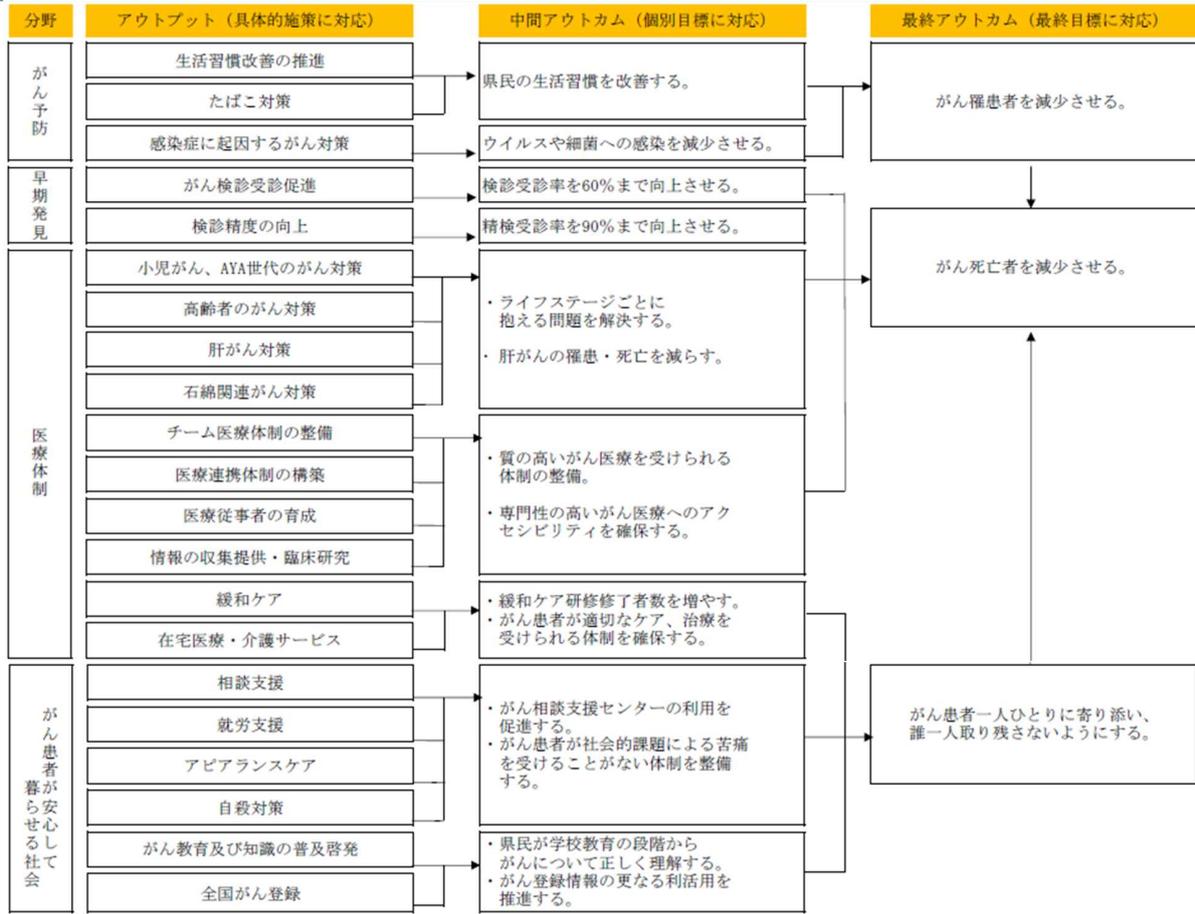
ロジックモデルのイメージ



第6次兵庫県がん対策推進計画における ロジックモデル作成目的

- 構成を図示して、全体像を把握する。
- アウトカムを共通認識として共有する。
- 具体的施策とアウトカムのつながりを確認することにより、具体的施策の適切さを検討する。
- 指標を設定して、評価につなげる。

兵庫県がん対策推進計画ロジックモデル(全体図)



兵庫県がん対策推進計画ロジックモデル(指標一覧)①

第4章 全体目標		県数値		
(1) がんによる罹患患者・死亡者減少の実現				
1	最終	がんの75歳未満年齢調整死亡率	64.7	
2	最終	がんの年齢調整罹患率	368.6	
(2) がん患者一人ひとりに寄り添い、誰一人取り残さない兵庫の実現				
3	最終	がん種別5年生存率	胃	68.0
4			肺	38.4
5			大腸	71.9
6			乳	91.3
7			子宮	74.8
8			肝	36.4
9	最終	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	62.7%	
第5章 分業別施策及び個別目標				
第1節 がん予防の推進				
(1) 生活習慣改善の推進				
10	中間	メタボリックシンドローム該当者割合	15.8%	
11	中間	食塩摂取量の中央値	9.8g	
12	中間	野菜摂取量の中央値	303.5	
13	中間	果物摂取量100g未満の人の割合	46.6%	
14	中間	1日の歩数の平均値	男性	7,405
15			女性	6,561
16	中間	日常生活のなかで体を動かすことを習慣化している人の割合	36.5%	
17	中間	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒をしている人の割合	11.0%	
18	中間	20歳未満の飲酒の割合	0.9%	
19	アウトプット	健康づくりチャレンジ企業登録社数	2163社	
(2) たばこ対策の充実				
20	中間	習慣的に喫煙している人の割合	全体	12.4%
21			男性	23.7%
22			女性	4.0%
23	中間	受動喫煙の機会を有する者の割合	職場	21.6%
24			飲食店	17.3%
25			行政機関	3.5%
26			医療機関	4.6%
27			家庭	8.0%
28	中間	20歳未満喫煙割合	0%	
29	アウトプット	喫煙防止教室の開催回数	7回	
(3) 感染症に起因するがん対策の推進				
30	中間	肝炎ウイルス検査の受診人数	1361人	
31	アウトプット	HPVワクチンの実施率	1回目	43.5%
32			2回目	43.7%
33			3回目	36.8%
34	アウトプット	肝炎医療コーディネーター数	1297人	

兵庫県がん対策推進計画ロジックモデル(指標一覧)②

第2節 早期発見の推進				
1 がん検診機会の確保と受診促進支援				
35	中間	検診受診率	胃	43.0%
36			肺	44.2%
37			大腸	43.2%
38			乳	42.8%
39			子宮	38.9%
(1) 市町の取組支援				
40	アウトプット	受診勧奨実施市町村数	胃	33/41市町
41			肺	33/41市町
42			大腸	37/41市町
43			乳	37/41市町
44			子宮	37/41市町
45	アウトプット	普及啓発キャンペーンの取組市町数		37/41市町
(2) 企業・職域との連携				
46	アウトプット	企業におけるがん検診受診促進事業助成人数		11201人
47	アウトプット	がん検診等受診率向上推進協定締結企業		24社
(3) がん検診受診促進のための普及啓発				
48	アウトプット	普及啓発キャンペーンの取組市町数(再掲)		37/41市町
2 適切ながん検診の実施				
49	中間	精密検査受診率	胃	78.8%
50			肺	81.6%
51			大腸	66.7%
52			乳	86.8%
53			子宮	76.2%
(1) 事業評価・精度管理の実施				
54	アウトプット	検診委託仕様書に制度管理項目を明記している市町数	胃	18/39市町
55			肺	19/40市町
56			大腸	18/41市町
57			乳	17/33市町
58			子宮	14/28市町
(2) がん検診従事者の専門性の向上				
59	アウトプット	がん検診を行う医療従事者研修会の受講人数		212人

兵庫県がん対策推進計画ロジックモデル(指標一覧)③

第3節 医療体制の充実			県数値
1 個別がん対策の推進			
60	中間	がんの診断・治療全体の総合評価(平均点)	7.8点
61	中間	治療開始前に、生殖機能への影響に関する説明を受けたがん患者・家族の割合	25.0%
62	中間	75歳未満年齢調整死亡率(肝)	3.5
63	中間	年齢調整罹患率(肝)	11.8
(1) 小児がん、AYA世代のがん対策			
64	アウトプット	若年がん患者妊孕性温存治療費助成事助成件数	88件
(2) 高齢者のがん対策			
65	アウトプット	当該がん医療圏において、地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制	18/18施設
66	アウトプット	意思決定能力を含む機能評価を行い、各種ガイドラインに沿って、個別の状況を踏まえた対応をしている拠点病院等の数	18/18施設
(3) 肝がん対策			
67	アウトプット	肝炎医療コーディネーター数(再掲)	1297人
(4) 石綿(アスベスト)関連がん対策			
68	アウトプット	石綿関連相談受付件数	151件
2 医療提供体制等			
69	中間	がんの診断・治療全体の総合評価(平均点または評価が高い割合)(再掲)	7.8点
70	中間	医療スタッフ間で情報が十分に共有されていると感じた患者の割合	64.6%
71	中間	担当した医師ががんについて十分な知識や経験を持っていたと思う患者の割合	77.3%
72	中間	一般の人が受けられるがん医療は数年前と比べて進歩したと思う患者の割合	81.5%
73	中間	ゲム情報を活用したがん医療についてがん患者が知っている割合	23.1%
(1) 拠点病院等におけるチーム医療体制の整備			
74	アウトプット	地域における相談支援や緩和ケアの提供体制・連携体制について協議し、体制整備を行った拠点病院等の数	18/18施設
75	アウトプット	医療機関としてのBCP*を策定している拠点病院等の数	17/18施設
(2) 医療連携体制の構築			
76	アウトプット	がん患者の口腔健康管理のため院内又は地域の歯科医師と連携して対応している拠点病院等の数	18/18施設
77	アウトプット	地域の多施設が開催する多職種連携カンファレンスへの参加数	183回
(3) がんの専門的な知識・技能を有する医療従事者の育成・配置			
78	アウトプット	学会等が認定する専門医(①日本医学放射線学会放射線治療専門医、②日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医、③日本がん治療認定機構がん治療認定医)を複数部門配置している拠点病院等の数	18/18施設
(4) 情報の収集提供と治験・臨床研究の推進			
79	アウトプット	がんゲノム医療中核拠点病院等の数	2施設
80	アウトプット	希少がん診療を積極的に受け入れている拠点病院等の数又は他施設へ紹介する拠点病院等の数	18/18施設
3 がん患者の療養生活の質の維持向上			
81	中間	身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	47.5%
82	中間	精神的な苦痛を抱えるがん患者の割合	43.2%
83	中間	がんと診断されてから病状や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合	72.6%
84	中間	家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合	38.9%
85	中間	医療従事者が耳を傾けてくれたと感じた患者の割合	68.6%

兵庫県がん対策推進計画ロジックモデル(指標一覧)④

(1) がんと診断された時からの緩和ケア等の推進			
86	アウトプット	緩和ケア研修修了者数	7651人
87	アウトプット	がん疼痛緩和指導管理科届出医療機関数	484機関
(2) 在宅医療・介護サービス提供体制の充実			
88	アウトプット	若年者の在宅ターミナルケア支援実施市町数	26市町
89	アウトプット	在宅療養支援診療所数	951施設
90	アウトプット	多職種連携システム(ﾊﾞｲﾌﾞﾘｯｸ)の導入地区数	32地区
91	アウトプット	地域の多施設が開催する多職種連携カンファレンスへの参加数(再掲)	183回
第4節 がん患者が安心して暮らせる社会の実現			
1 がん患者への支援の充実			
92	中間	がん相談支援センターについて知っているがん患者の割合	69.8%
93	中間	ピアサポーターについて知っているがん患者の割合	17.8%
94	中間	治療開始前に、就労継続について説明を受けたがん患者の割合	35.5%
95	中間	がんと診断後も仕事を継続していたがん患者の割合	80.8%
96	中間	身体的・精神的な苦痛により日常生活に支障を来しているがん患者の割合	67.4%
97	中間	家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合(再掲)	38.9%
98	中間	外見の変化に関する悩みを誰かに相談できたがん患者の割合	33.2%
(1) 相談支援体制の充実			
99	アウトプット	がん相談支援センターにおける相談件数	14875件
100	アウトプット	相談員研修を受講したがん相談支援センターの相談員の数	99人
(2) 就労支援体制の構築			
101	アウトプット	拠点病院等のがん相談支援センターにおける就労に関する相談件数	887件
102	アウトプット	拠点病院等における就労の専門家による相談会の回数	226回
103	アウトプット	ハローワークと連携した就職支援をおこなっている拠点病院等の数	18/18施設
104	アウトプット	長期療養者就職支援事業を活用した就職者数	96人
(3) アピアランスケア			
105	アウトプット	拠点病院等におけるアピアランスに関する相談件数	11738件
(4) がん患者の自殺対策等			
106	アウトプット	緩和ケア研修修了者数(再掲)	7651人
107	アウトプット	自殺リスクに関する研修を実施した拠点病院等の数	4/18施設
2 がん患者を支える社会の構築			
108	中間	がんについて恐ろしい病気であると感じる割合	64.2%
(1) がん教育及びがんに関する知識の普及啓発			
109	アウトプット	外部講師を活用してがん教育を実施した学校の割合	3.6%
110	アウトプット	拠点病院等で実施した、地域を対象とした、がんに関するセミナー等の開催回数(総数)	41回
(2) 全国がん登録の推進			
111	アウトプット	全国がん登録実務者向け研修申込者数	225人

がん対策の推進(令和6年度)

「がん対策推進条例」及び「兵庫県がん対策推進計画(第6次ひょうご対がん戦略)」に基づき、がん対策を総合的に推進

① 早期発見の推進

(ア) 市町と連携した取組

- 重点市町の指定による取組
- 国保県線入金(特別交付分)による市町取組支援

(イ) 職域等と連携した取組

- がん検診等に積極的に取り組む企業等との協定締結、企業がん検診受診促進事業の実施
- がん検診受診率向上対策推進事業【新】

② 医療体制の充実

(ア) 医療連携等の推進

- 国指定がん拠点病院等(18病院)、県指定がん拠点病院(8病院)の整備
- がんゲム医療拠点病院(県内2病院)を中心としたがんゲム医療提供体制の整備
- 小児がん拠点病院(県立こども病院)、近畿ブロック小児がん連携病院(県内11病院)を中心とした小児がん医療提供体制の整備

(イ) がん患者の療養生活の質の維持向上

- がん拠点病院等が実施する緩和ケア研修会の開催
- アピアランスサポート事業の実施
- 若年者の在宅ターミナルケア支援事業の実施

③ 肝がん対策

(ア) 肝炎インターフェロン等治療費公費助成

- B型患者の核酸アナログ製剤治療費、C型患者のインターフェロン治療費等への公費助成

(イ) 肝炎治療費助成申請に係る診断書を記載する医師の登録、養成

- 肝疾患拠点病院と連携した研修会の開催

(ウ) 肝炎ウイルス感染者への保健指導の実施

- 肝炎医療コーディネーター研修の実施、初回精密検査費用の助成、定期検査費用の助成

(エ) 肝がん等医療費公費助成

- 肝がん患者、重度肝硬変患者の治療への公費助成

【新】がん検診受診率向上対策推進事業

- 令和5年3月に改定された国の第4期がん対策推進基本計画において、がん検診受診率の目標が50%から60%に引き上げられたこと等を踏まえ、**がん検診受診率の向上に向けた更なる取組を実施**
- 市町向けがん検診受診率向上に係る研修会の開催
- WEB広告等を活用した普及啓発の実施
 - ・対象者 県内在住のがん検診受診対象者(男性:40歳以上、女性:20歳以上)
 - ・実施期間 がん検診受診率60%達成に向けた集中キャンペーン月間(10月)

【参考】がん検診受診率(単位:%)

区分	胃がん			大腸がん			肺がん			乳がん			子宮がん		
	H28	R1	R4												
全国	40.9	49.5	48.4	41.4	44.2	45.9	46.2	49.4	49.7	44.9	47.4	47.4	42.3	43.7	43.6
兵庫県	35.9	44.1	43.0	39.8	42.5	43.2	40.7	44.6	44.2	40.6	42.1	42.8	38.1	39.1	38.9
順位	42位	42位	45位	31位	34位	37位	42位	39位	43位	39位	42位	39位	43位	41位	41位

(国民生活基礎調査)